

(78%)、呼吸器系の疾患(65%)、皮膚および皮下組織の疾患(62%)、尿路生殖器系の疾患(61%)、骨格筋系および結合組織の疾患(52%)、精神および行動の疾患(51%)だった。外来で50%以上だったものはなかった。

満足度(1)「医師による診療・治療内容に満足していますか」の分布を表6に示す。入院で不満足が10%以上だったものはなかった。外来で10%以上だったものは精神および行動の疾患(11%)だった。

満足度(2)「医師との対話に満足していますか」の分布を表7に示す。入院で不満足が10%以上だったものは皮膚および皮下組織の疾患(12%)、精神および行動の疾患(10%)だった。外来で10%以上だったものはなかった。

満足度(3)「医師以外の病院スタッフの対応に満足していますか」の分布を表8に示す。入院・外来ともに不満足が10%以上だったものはなかった。

満足度(4)「痛みなどのからだの症状を和らげる対応に満足していますか」の分布を表9に示す。入院で不満足が10%以上だったものは精神および行動の疾患(11%)だった。外来で10%以上だったものは精神および行動の疾患(11%)、骨格筋系および結合組織の疾患(11%)だった。

満足度(5)「精神的なケアに満足していますか」の分布を表10に示す。入院で不満足が10%以上だったものは神経系の疾患(13%)、内分泌、栄養および代謝疾患(11%)、精神および行動の疾患(10%)、皮膚および皮下組織の疾患(10%)だった。外来で10%以上だったものは精神および行動の疾患(13%)、尿路生殖器系の疾患(10%)だった。

心身の状態と満足度の各項目の相関を表1

1に示す。心身の状態および満足度はそれらの中ではお互いに中程度～高度の相関があったが、心身の状態の各項目と満足度の各項目の相関はほとんどなかった。

D. 考察

受療行動調査の結果、わが国の入院患者・外来患者の心身の状態、満足度の疾患別の分布が明らかになった。受療行動調査はわが国唯一の患者に直接尋ねる政府統計であり、病院・診療所を無作為抽出しているため、心身の状態や満足度に関してわが国の全国値を推定できる最も信頼できる方法である。

「からだの苦痛」に関しては入院では、ほぼ全ての疾患で苦痛があるという回答が50%を以上であった。からだの苦痛や痛みは骨格筋系および結合組織の疾患、神経系の疾患で高い傾向にあった。痛みをはじめとしたからだの苦痛の緩和は疾患に限らず十分とは言えない状況であることが推察された。

気持ちのつらさに関しても入院ではほぼ全ての疾患で50%の回答がみられた。入院患者の気持ちのつらさに対するより一層の支援が必要である。

歩くのが大変だ、身の周りのことをするのに介助が必要だ、の項目に関しては年齢を考慮した分析を追加する必要がある。

満足度に関しては全体的に不満足という回答が10%を超えるものはほとんどなく、全体として入院・外来患者は医療に満足していると考えられた。不満足が10%を超えた項目および疾患に関しては不満足の内容をより具体的に調査し、医師や他の医療スタッフが対処する必要があるかもしれない。

心身の状態と満足度は関連がなかったが、これは平成23年度調査から心身の状態を組み

入れることによって、より多方面から患者の状況を把握し医療を評価することが可能となったことを示している。医療の評価に満足度を使用することは以前から批判があり、今回取得した心身の状態のような患者の自己報告による評価（PRO: Patient Reported Outcomes）が世界的に求められていることから、心身の状態の把握は今後の医療の評価において重要なものとなる可能性がある。

来年度研究および今後の課題はそれぞれの疾患ごとに心身の状態・満足度と患者の背景要因との関連を探索すること、心身の状態・満足度と医療施設調査による施設情報との関連を分析すること、心身の状態と満足度のかい離の理由を探索することなどである。

E. 結論

受療行動調査の結果、わが国の入院患者・外来患者の心身の状態、満足度の疾患別の分布が明らかになった。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

宮下光令, 加藤雅志, 清水恵, 森田達也, 佐藤一樹, 藤澤大介. 日本のがん患者のQOL: 受療行動調査を用いた全国調査. 日本臨床腫瘍学会 (仙台). 2013/8/29.

宮下光令, 加藤雅志, 清水恵, 佐藤一樹, 藤澤大介, 森田達也. 全国のがん患者のQuality of Life: 平成23年度受療行動調査と一般市民の比較. 日本癌治療学会 (京都). 2013/10/24.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

表1 【心身の状態(1)】 からだの苦痛がある (数字は%)

【入院】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	41.5	22.0	6.6	12.5	17.4	63.4
悪性新生物	32.5	23.2	9.6	18.4	16.4	55.7
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	25.9	24.2	8.8	17.8	23.2	50.1
内分泌、栄養および代謝疾患	28.0	22.6	12.0	12.8	24.6	50.6
精神および行動の疾患	31.3	21.7	15.6	10.1	21.3	53.0
神経系の疾患	43.8	23.7	10.5	8.4	13.6	67.5
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	19.5	16.2	7.4	18.3	38.6	35.7
循環器系の疾患	34.4	23.1	13.4	13.1	16.0	57.5
呼吸器系の疾患	36.9	25.3	12.4	12.0	13.5	62.1
消化器系の疾患	30.3	23.6	8.6	17.9	19.6	53.9
皮膚および皮下組織の疾患	36.8	28.1	10.4	12.2	12.5	64.9
骨格筋系および結合組織の疾	45.0	26.1	8.9	11.8	8.2	71.1
尿路生殖器系の疾患	33.9	21.6	12.1	13.0	19.5	55.4
妊娠、分娩および産じょく	11.3	32.1	16.0	19.9	20.7	43.4
周産期に発生した病態	34.4	19.9	15.3	10.0	20.4	54.4

【外来】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	20.3	21.9	9.2	16.8	31.8	42.2
悪性新生物	16.1	19.3	7.9	17.1	39.6	35.4
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	12.0	16.7	7.4	14.7	49.3	28.6
内分泌、栄養および代謝疾患	15.4	15.7	7.9	16.2	44.9	31.0
精神および行動の疾患	23.5	21.5	11.8	14.8	28.4	45.1
神経系の疾患	27.5	21.3	9.1	13.5	28.7	48.8
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	17.0	17.1	8.3	14.1	43.5	34.1
循環器系の疾患	20.6	19.7	8.2	16.9	34.6	40.3
呼吸器系の疾患	23.9	23.0	8.4	13.0	31.7	46.9
消化器系の疾患	19.1	18.9	7.6	15.4	39.0	38.0
皮膚および皮下組織の疾患	19.6	26.2	7.5	11.2	35.5	45.8
骨格筋系および結合組織の疾	47.0	27.9	6.6	8.7	9.8	74.9
尿路生殖器系の疾患	16.4	20.4	9.0	14.9	39.3	36.9
妊娠、分娩および産じょく	1.2	17.7	14.1	21.3	45.7	18.9
周産期に発生した病態	8.5	13.0	6.5	13.3	58.7	21.5

(*)「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計

表2【心身の状態(2)】痛みがある(数字は%)

【入院】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	33.1	20.0	9.7	14.2	23.0	53.1
悪性新生物	25.1	22.5	9.4	17.0	26.0	47.6
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	20.8	25.5	4.6	17.2	32.0	46.3
内分泌、栄養および代謝疾患	28.3	15.1	11.1	12.4	33.0	43.5
精神および行動の疾患	20.6	23.8	15.0	8.3	32.3	44.4
神経系の疾患	32.4	24.7	13.5	8.7	20.7	57.1
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	13.6	15.1	6.5	12.9	51.9	28.7
循環器系の疾患	27.9	19.6	11.4	14.9	26.2	47.5
呼吸器系の疾患	27.1	22.5	14.9	11.4	24.1	49.6
消化器系の疾患	25.5	22.1	10.1	14.6	27.7	47.6
皮膚および皮下組織の疾患	33.7	18.9	11.6	17.7	18.2	52.5
骨格筋系および結合組織の疾	48.0	21.9	7.4	9.4	13.4	69.8
尿路生殖器系の疾患	26.6	20.7	11.0	14.1	27.5	47.4
妊娠、分娩および産じょく	12.7	33.8	10.2	13.6	29.8	46.4
周産期に発生した病態	34.7	13.5	16.3	8.7	26.8	48.2

【外来】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	17.3	18.3	5.4	12.8	46.3	35.5
悪性新生物	12.6	15.4	6.6	13.4	52.0	28.0
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	10.0	14.1	5.8	9.4	60.7	24.1
内分泌、栄養および代謝疾患	13.1	12.3	5.3	10.0	59.3	25.4
精神および行動の疾患	15.8	17.4	10.5	14.2	42.1	33.1
神経系の疾患	23.4	18.0	6.6	11.5	40.6	41.3
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	12.7	12.1	6.1	11.4	57.7	24.8
循環器系の疾患	18.8	15.3	7.3	12.1	46.6	34.0
呼吸器系の疾患	16.4	15.4	9.3	11.6	47.4	31.7
消化器系の疾患	16.6	15.9	6.4	11.0	50.2	32.4
皮膚および皮下組織の疾患	14.6	19.0	7.5	8.9	50.0	33.6
骨格筋系および結合組織の疾	53.9	22.7	5.5	5.5	12.5	76.5
尿路生殖器系の疾患	13.9	14.2	8.8	12.3	50.8	28.1
妊娠、分娩および産じょく	3.1	12.1	9.6	12.9	62.3	15.2
周産期に発生した病態	7.0	11.5	5.6	9.9	66.0	18.5

(*)「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計

表3 【心身の状態(3)】 気持ちがつらい (数字は%)

【入院】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	28.9	30.9	11.0	11.0	18.3	59.7
悪性新生物	27.4	23.4	13.9	14.2	21.2	50.7
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	18.6	18.4	13.2	19.1	30.7	37.1
内分泌、栄養および代謝疾患	22.2	21.9	17.0	12.8	26.0	44.1
精神および行動の疾患	30.2	21.5	13.9	13.6	20.7	51.7
神経系の疾患	38.0	23.6	17.6	8.6	12.2	61.6
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	10.3	14.2	12.5	11.4	51.6	24.5
循環器系の疾患	33.0	21.3	16.8	11.7	17.2	54.2
呼吸器系の疾患	29.2	25.0	17.9	11.8	16.1	54.2
消化器系の疾患	20.2	23.9	12.6	14.5	28.8	44.1
皮膚および皮下組織の疾患	23.5	25.6	14.1	14.5	22.4	49.1
骨格筋系および結合組織の疾	24.2	24.0	15.4	13.5	22.8	48.3
尿路生殖器系の疾患	29.1	26.0	18.1	9.5	17.4	55.0
妊娠、分娩および産じょく	9.3	18.7	15.4	21.7	34.9	28.1
周産期に発生した病態	11.3	17.5	24.4	13.9	33.0	28.8

【外来】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	13.5	15.3	12.0	13.3	45.9	28.8
悪性新生物	12.0	18.6	11.8	15.0	42.5	30.6
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	8.7	13.0	10.0	14.2	54.1	21.7
内分泌、栄養および代謝疾患	7.6	12.9	10.3	14.0	55.2	20.4
精神および行動の疾患	35.8	27.1	11.2	9.0	17.0	62.9
神経系の疾患	19.5	22.2	12.9	10.9	34.5	41.7
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	10.2	15.0	12.0	10.3	52.6	25.2
循環器系の疾患	10.6	14.8	12.2	15.0	47.4	25.4
呼吸器系の疾患	9.9	17.4	12.0	12.7	48.0	27.3
消化器系の疾患	10.3	15.1	9.7	14.0	51.0	25.4
皮膚および皮下組織の疾患	10.0	17.5	9.5	13.4	49.5	27.6
骨格筋系および結合組織の疾	17.0	22.9	14.6	15.0	30.5	39.9
尿路生殖器系の疾患	12.9	18.8	10.8	14.3	43.2	31.7
妊娠、分娩および産じょく	2.4	14.4	16.7	13.1	53.3	16.9
周産期に発生した病態	4.3	7.0	8.3	10.3	70.1	11.3

(*)「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計

表4 【心身の状態(4)】 歩くのが大変だ (数字は%)

【入院】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	37.0	13.9	8.8	11.7	28.6	50.9
悪性新生物	29.0	15.8	8.1	15.3	31.7	44.8
良性新生物、血液及び造血器の 疾患並びに免疫機能の障害	26.1	16.2	8.7	15.3	33.8	42.2
内分泌、栄養および代謝疾患	49.3	13.7	5.9	3.3	27.9	62.9
精神および行動の疾患	41.5	12.5	8.7	10.7	26.6	54.0
神経系の疾患	74.0	6.0	5.6	3.7	10.8	80.0
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	15.8	12.6	7.2	10.2	54.1	28.4
循環器系の疾患	61.9	13.6	5.7	6.2	12.5	75.5
呼吸器系の疾患	54.7	13.2	7.2	7.3	17.6	67.9
消化器系の疾患	28.3	16.1	7.0	13.7	34.9	44.4
皮膚および皮下組織の疾患	56.2	14.0	5.4	5.6	18.8	70.3
骨格筋系および結合組織の疾	59.0	18.8	6.3	6.7	9.3	77.8
尿路生殖器系の疾患	52.5	16.3	4.3	7.8	19.1	68.8
妊娠、分娩および産じょく	10.1	24.4	15.7	16.2	33.6	34.5
周産期に発生した病態	33.9	18.8	13.4	9.5	24.5	52.7

【外来】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	12.5	9.7	7.4	11.8	58.7	22.2
悪性新生物	11.9	13.3	5.7	11.7	57.4	25.3
良性新生物、血液及び造血器の 疾患並びに免疫機能の障害	7.7	5.9	4.8	7.8	73.7	13.7
内分泌、栄養および代謝疾患	13.5	10.2	6.2	10.4	59.7	23.6
精神および行動の疾患	17.1	12.8	7.3	14.9	47.8	30.0
神経系の疾患	24.8	15.3	5.6	9.9	44.4	40.1
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	14.4	10.6	4.7	8.6	61.7	25.0
循環器系の疾患	22.7	17.1	6.2	9.7	44.3	39.8
呼吸器系の疾患	10.8	10.1	5.2	11.2	62.7	20.9
消化器系の疾患	9.8	10.1	5.7	10.3	64.2	19.9
皮膚および皮下組織の疾患	11.1	9.0	4.5	7.8	67.6	20.1
骨格筋系および結合組織の疾	32.4	21.0	7.7	11.2	27.7	53.5
尿路生殖器系の疾患	13.9	13.6	6.3	10.1	56.1	27.5
妊娠、分娩および産じょく	3.9	13.9	7.1	6.3	68.8	17.8
周産期に発生した病態	6.8	10.8	7.3	7.0	68.1	17.6

(*)「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計

表5【心身の状態(5)】身の周りのことをするのに介助が必要だ (数字は%)

【入院】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いけない	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	36.5	10.7	9.0	10.9	32.9	47.3
悪性新生物	23.1	12.0	7.6	11.2	46.0	35.2
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	24.5	10.2	7.1	12.6	45.6	34.8
内分泌、栄養および代謝疾患	36.8	10.2	9.5	5.2	38.4	47.0
精神および行動の疾患	40.3	10.9	5.2	5.7	38.0	51.1
神経系の疾患	68.8	9.3	5.1	3.9	12.9	78.1
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	5.9	9.3	5.2	9.6	70.1	15.2
循環器系の疾患	59.0	12.1	4.2	6.1	18.7	71.1
呼吸器系の疾患	51.7	13.2	7.3	5.7	22.1	64.9
消化器系の疾患	22.8	10.0	6.5	12.5	48.2	32.8
皮膚および皮下組織の疾患	47.7	14.3	5.2	8.1	24.8	61.9
骨格筋系および結合組織の疾	36.0	16.0	10.4	12.7	24.9	52.0
尿路生殖器系の疾患	51.7	9.4	5.6	8.0	25.4	61.1
妊娠、分娩および産じょく	2.9	9.0	14.3	14.6	59.2	11.9
周産期に発生した病態	30.8	12.5	11.9	12.2	32.7	43.3

【外来】

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いけない	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	そう思う の合計(*)
感染症及び寄生虫症	4.9	3.2	2.7	8.2	81.0	8.1
悪性新生物	5.1	4.9	3.8	8.9	77.3	10.0
良性新生物、血液及び造血器 の疾患並びに免疫機能の障害	3.1	2.7	2.2	5.1	86.9	5.9
内分泌、栄養および代謝疾患	4.7	4.2	2.8	7.9	80.5	8.9
精神および行動の疾患	12.3	8.1	6.3	9.2	64.1	20.4
神経系の疾患	19.0	10.7	6.7	7.7	55.9	29.7
目および付属器の疾患、耳およ び乳様突起の疾患	4.6	6.0	3.3	6.6	79.6	10.6
循環器系の疾患	11.0	7.5	4.7	9.3	67.4	18.5
呼吸器系の疾患	5.9	3.5	4.4	6.8	79.5	9.4
消化器系の疾患	3.8	4.2	2.8	5.6	83.7	8.0
皮膚および皮下組織の疾患	5.2	2.6	3.2	4.4	84.7	7.8
骨格筋系および結合組織の疾	7.0	7.4	7.4	10.9	67.2	14.4
尿路生殖器系の疾患	6.1	5.2	4.9	7.2	76.5	11.4
妊娠、分娩および産じょく	0.0	3.2	6.0	8.7	82.1	3.2
周産期に発生した病態	2.9	2.2	4.9	6.4	83.6	5.1

(*)「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計

表6 【満足度(1)】 医師による診療・治療内容に満足していますか（数字は%）

【入院】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	36.1	33.1	27.4	2.1	1.2	3.3
悪性新生物	46.5	32.4	18.7	2.0	0.4	2.4
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	55.3	25.5	17.2	1.7	0.3	2.0
内分泌、栄養および代謝疾患	38.0	29.3	28.8	1.9	2.1	3.9
精神および行動の疾患	28.4	25.8	37.3	6.8	1.7	8.5
神経系の疾患	38.0	29.7	24.4	5.9	2.0	7.9
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	57.4	26.4	13.9	1.5	0.9	2.4
循環器系の疾患	44.2	24.9	26.7	3.7	0.5	4.2
呼吸器系の疾患	43.5	27.7	24.9	3.4	0.4	3.9
消化器系の疾患	46.7	28.2	20.5	3.6	1.0	4.6
皮膚および皮下組織の疾患	44.0	24.3	25.8	5.4	0.5	5.9
骨格筋系および結合組織の疾患	47.4	28.6	19.5	2.6	1.9	4.5
尿路生殖器系の疾患	40.1	28.4	27.5	1.9	2.1	4.0
妊娠、分娩および産じょく	55.4	26.9	16.1	1.5	0.1	1.6
周産期に発生した病態	38.9	34.6	25.5	0.0	1.0	1.0

【外来】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	24.7	30.0	40.1	4.6	0.5	5.2
悪性新生物	29.0	32.7	33.4	4.3	0.5	4.8
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	23.9	34.0	37.3	4.1	0.7	4.8
内分泌、栄養および代謝疾患	23.9	29.4	41.2	4.8	0.7	5.5
精神および行動の疾患	27.8	31.8	29.3	9.3	1.8	11.1
神経系の疾患	24.2	28.7	41.0	5.7	0.4	6.1
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	22.1	30.7	41.0	5.1	1.1	6.2
循環器系の疾患	26.7	30.5	38.2	4.1	0.6	4.7
呼吸器系の疾患	27.0	31.6	36.7	4.1	0.6	4.7
消化器系の疾患	28.9	31.6	34.4	4.4	0.7	5.1
皮膚および皮下組織の疾患	24.8	30.8	36.0	7.2	1.1	8.4
骨格筋系および結合組織の疾患	24.6	29.4	38.8	6.6	0.7	7.2
尿路生殖器系の疾患	21.3	30.6	41.3	5.5	1.3	6.8
妊娠、分娩および産じょく	23.6	29.2	42.6	4.6	0.0	4.6
周産期に発生した病態	28.9	26.5	39.9	4.0	0.8	4.8

(*)「不満である」と「やや不満である」の割合の合計

表7 【満足度(2)】 医師との対話に満足していますか (数字は%)

【入院】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	39.1	27.7	25.8	6.0	1.5	7.4
悪性新生物	46.0	29.3	20.4	3.7	0.6	4.3
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	51.7	26.6	17.9	3.5	0.2	3.8
内分泌、栄養および代謝疾患	41.0	25.4	27.0	3.5	3.0	6.6
精神および行動の疾患	25.2	26.8	38.1	8.0	2.0	10.0
神経系の疾患	38.4	28.6	23.7	6.7	2.6	9.3
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	52.7	30.0	14.4	2.0	0.9	2.9
循環器系の疾患	41.4	24.0	27.0	6.4	1.2	7.6
呼吸器系の疾患	39.3	27.4	26.3	5.6	1.4	7.0
消化器系の疾患	43.9	27.7	23.3	4.0	1.1	5.1
皮膚および皮下組織の疾患	44.0	20.3	23.4	11.0	1.4	12.4
骨格筋系および結合組織の疾患	46.6	21.0	25.6	4.9	1.9	6.8
尿路生殖器系の疾患	37.5	26.0	30.0	4.7	1.9	6.5
妊娠、分娩および産じょく	50.0	25.9	21.9	2.1	0.1	2.2
周産期に発生した病態	33.7	28.3	35.5	1.5	1.1	2.5

【外来】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	26.7	32.9	34.0	5.5	1.0	6.4
悪性新生物	31.1	31.7	30.8	5.8	0.7	6.4
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	26.2	32.6	34.3	5.7	1.3	7.0
内分泌、栄養および代謝疾患	28.3	29.1	37.2	4.3	1.1	5.4
精神および行動の疾患	30.9	28.6	32.2	6.1	2.2	8.3
神経系の疾患	30.1	27.6	37.0	4.5	0.8	5.3
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	23.9	30.7	36.4	7.5	1.4	8.9
循環器系の疾患	30.6	30.1	34.0	4.4	0.9	5.4
呼吸器系の疾患	29.8	30.2	34.1	5.2	0.6	5.9
消化器系の疾患	30.5	30.9	32.5	5.1	1.0	6.2
皮膚および皮下組織の疾患	27.6	30.3	34.4	6.9	0.9	7.7
骨格筋系および結合組織の疾患	27.5	28.8	36.6	5.9	1.2	7.1
尿路生殖器系の疾患	23.4	30.9	37.4	6.6	1.7	8.3
妊娠、分娩および産じょく	29.9	22.8	42.5	4.8	0.0	4.8
周産期に発生した病態	30.0	26.3	37.9	4.7	1.2	5.9

(*)「不満である」と「やや不満である」の割合の合計

表8【満足度(3)】 医師以外の病院スタッフの対応に満足していますか (数字は%)

【入院】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	41.1	30.0	25.5	2.2	1.3	3.4
悪性新生物	44.0	34.0	18.7	2.7	0.6	3.2
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	54.7	25.5	17.3	2.4	0.2	2.6
内分泌、栄養および代謝疾患	39.2	27.9	25.6	5.9	1.4	7.2
精神および行動の疾患	27.8	31.1	36.5	3.4	1.2	4.6
神経系の疾患	41.5	29.7	21.6	5.8	1.4	7.2
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	53.0	28.1	14.8	2.8	1.4	4.2
循環器系の疾患	43.3	28.2	21.3	6.1	1.1	7.2
呼吸器系の疾患	44.2	26.1	23.3	6.1	0.3	6.4
消化器系の疾患	42.4	30.8	22.4	3.4	1.0	4.4
皮膚および皮下組織の疾患	40.3	29.4	26.0	4.0	0.3	4.3
骨格筋系および結合組織の疾患	45.6	25.8	24.5	2.4	1.7	4.1
尿路生殖器系の疾患	34.6	32.1	25.3	6.6	1.5	8.1
妊娠、分娩および産じょく	57.8	27.7	12.3	1.7	0.6	2.2
周産期に発生した病態	41.5	29.8	22.7	6.0	0.0	6.0

【外来】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	26.2	33.2	37.1	3.0	0.5	3.5
悪性新生物	28.9	33.7	33.6	3.0	0.8	3.8
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	25.4	33.8	36.2	3.5	1.1	4.6
内分泌、栄養および代謝疾患	26.2	30.4	39.2	3.0	1.3	4.2
精神および行動の疾患	28.9	27.1	37.3	4.8	1.9	6.7
神経系の疾患	24.5	33.0	38.5	3.9	0.2	4.1
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	24.1	32.0	40.2	3.0	0.7	3.7
循環器系の疾患	27.5	29.8	38.6	3.3	0.8	4.1
呼吸器系の疾患	28.7	31.8	35.6	2.7	1.1	3.8
消化器系の疾患	27.9	33.3	34.5	3.5	0.8	4.3
皮膚および皮下組織の疾患	26.0	33.4	35.6	3.8	1.2	5.0
骨格筋系および結合組織の疾患	28.0	30.0	37.1	3.8	1.1	4.9
尿路生殖器系の疾患	23.4	33.2	36.4	5.5	1.4	6.9
妊娠、分娩および産じょく	29.8	30.3	36.4	1.1	2.3	3.4
周産期に発生した病態	29.9	30.7	34.8	3.4	1.3	4.6

(*)「不満である」と「やや不満である」の割合の合計

表9 【満足度(4)】 痛みなどのからだの症状を和らげる対応に満足していますか (数字は%)

【入院】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	32.4	30.9	28.1	7.7	0.9	8.6
悪性新生物	38.5	31.7	26.3	3.2	0.3	3.5
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	43.9	28.2	24.2	3.2	0.5	3.7
内分泌、栄養および代謝疾患	32.1	25.6	33.6	7.1	1.7	8.8
精神および行動の疾患	17.4	33.7	37.4	8.7	2.8	11.5
神経系の疾患	24.5	33.9	33.0	8.1	0.6	8.7
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	45.5	26.8	24.7	1.9	1.1	3.1
循環器系の疾患	32.8	26.3	34.4	5.9	0.7	6.6
呼吸器系の疾患	31.6	30.6	32.9	4.3	0.6	4.9
消化器系の疾患	34.7	31.7	28.6	3.5	1.5	5.0
皮膚および皮下組織の疾患	36.9	29.4	26.5	6.6	0.6	7.3
骨格筋系および結合組織の疾患	35.6	28.5	29.7	5.3	0.8	6.1
尿路生殖器系の疾患	27.3	31.0	34.7	6.4	0.5	7.0
妊娠、分娩および産じょく	50.0	27.0	20.8	1.9	0.3	2.2
周産期に発生した病態	32.4	23.4	42.0	2.3	0.0	2.3

【外来】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	20.2	24.2	50.3	4.3	1.1	5.4
悪性新生物	19.4	28.1	46.6	5.0	0.9	5.9
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	17.0	23.4	53.5	5.2	0.8	6.0
内分泌、栄養および代謝疾患	17.6	22.5	54.1	5.0	0.7	5.8
精神および行動の疾患	18.3	23.8	46.9	8.2	3.0	11.1
神経系の疾患	16.7	24.2	49.7	8.1	1.4	9.5
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	15.1	22.9	54.8	6.3	1.0	7.3
循環器系の疾患	17.9	25.8	51.0	4.6	0.7	5.3
呼吸器系の疾患	20.0	26.6	48.3	4.3	0.8	5.1
消化器系の疾患	22.1	27.6	45.1	4.7	0.5	5.2
皮膚および皮下組織の疾患	17.8	30.2	43.8	6.9	1.3	8.2
骨格筋系および結合組織の疾患	19.6	28.0	41.3	9.5	1.6	11.1
尿路生殖器系の疾患	16.0	25.2	51.2	6.5	1.2	7.6
妊娠、分娩および産じょく	23.0	12.9	59.6	3.4	1.1	4.5
周産期に発生した病態	22.7	21.4	51.1	4.0	0.7	4.8

(*)「不満である」と「やや不満である」の割合の合計

表10 【満足度(5)】 精神的なケアに満足していますか (数字は%)

【入院】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	26.6	26.7	41.0	4.6	1.1	5.7
悪性新生物	31.6	28.0	35.0	4.8	0.6	5.4
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	37.6	26.2	32.2	3.8	0.4	4.1
内分泌、栄養および代謝疾患	32.8	20.2	35.9	8.4	2.8	11.2
精神および行動の疾患	19.7	31.6	37.8	8.6	2.3	10.9
神経系の疾患	28.2	20.2	39.1	12.0	0.6	12.6
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	44.1	23.0	30.5	0.7	1.6	2.3
循環器系の疾患	31.0	23.7	36.8	7.2	1.3	8.4
呼吸器系の疾患	30.7	20.3	41.0	7.2	0.9	8.1
消化器系の疾患	28.1	27.0	37.8	6.1	0.9	7.1
皮膚および皮下組織の疾患	31.0	20.7	38.0	7.6	2.7	10.3
骨格筋系および結合組織の疾患	29.8	24.3	37.6	6.1	2.2	8.3
尿路生殖器系の疾患	24.0	30.0	36.6	7.3	2.1	9.4
妊娠、分娩および産じょく	40.3	29.6	24.8	4.3	1.0	5.3
周産期に発生した病態	20.6	30.8	46.2	1.7	0.8	2.5

【外来】

	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	不満の合計(*)
感染症及び寄生虫症	18.1	19.8	56.7	4.6	0.7	5.4
悪性新生物	18.7	22.0	51.1	6.6	1.6	8.2
良性新生物、血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	16.4	20.8	56.6	4.7	1.4	6.1
内分泌、栄養および代謝疾患	17.9	20.9	55.5	4.6	1.2	5.8
精神および行動の疾患	24.7	25.8	36.0	10.0	3.5	13.5
神経系の疾患	17.5	21.4	51.4	8.4	1.3	9.7
目および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患	14.8	20.4	56.9	6.4	1.5	7.9
循環器系の疾患	19.0	22.0	53.5	4.3	1.2	5.5
呼吸器系の疾患	18.0	22.8	53.6	4.3	1.3	5.6
消化器系の疾患	19.3	23.6	51.3	5.0	0.8	5.9
皮膚および皮下組織の疾患	15.4	22.5	55.1	5.3	1.8	7.1
骨格筋系および結合組織の疾患	17.1	20.3	55.4	6.0	1.3	7.3
尿路生殖器系の疾患	14.6	21.2	54.1	7.9	2.2	10.1
妊娠、分娩および産じょく	21.4	18.0	55.1	4.0	1.6	5.6
周産期に発生した病態	22.5	20.6	51.5	4.3	1.2	5.5

(*)「不満である」と「やや不満である」の割合の合計

表11 心身の状態と満足度の各項目の相関(数字はPearsonの相関係数) (数字は%)

	心身の状態					満足度				
	からだの苦痛がある	痛みがある	気持ちがつらい	歩くのが大変だ	身の周りのことをするのに介助が必要だ	医師による診療・治療内容に満足していますか	医師との対話に満足していますか	医師以外の病院スタッフの対応に満足していますか	痛みなどのからだの症状を和らげる対応に満足していますか	精神的なケアに満足していますか
からだの苦痛がある	1.00	0.85	0.65	0.57	0.42	-0.06	-0.06	-0.03	-0.11	-0.10
痛みがある	-	1.00	0.55	0.56	0.40	-0.05	-0.05	-0.03	-0.10	-0.09
気持ちがつらい	-	-	1.00	0.53	0.46	-0.10	-0.10	-0.07	-0.14	-0.16
歩くのが大変だ	-	-	-	1.00	0.71	-0.01	-0.02	0.00	-0.06	-0.05
身の周りのことをするのに介助が必要だ	-	-	-	-	1.00	0.01	0.00	0.01	-0.02	-0.02
医師による診療・治療内容に満足していますか	-	-	-	-	-	1.00	0.82	0.59	0.64	0.63
医師との対話に満足していますか	-	-	-	-	-	-	1.00	0.59	0.61	0.63
医師以外の病院スタッフの対応に満足していますか	-	-	-	-	-	-	-	1.00	0.61	0.62
痛みなどのからだの症状を和らげる対応に満足していますか	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	0.73
精神的なケアに満足していますか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00

日本臨床腫瘍学会 2013年8月29日

日本のがん患者のQOL ： 受療行動調査を用いた全国調査

宮下光令¹⁾ 加藤雅志²⁾ 清水恵¹⁾ 森田達也³⁾ 佐藤一樹⁴⁾ 藤澤大介⁴⁾

- 1) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野
- 2) 国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
- 3) 聖隷三方原病院緩和ケア治療科
- 4) 国立がん研究センター精神腫瘍科

発表者・研究責任者の利益相反開示事項

研究費の財源 研究費の提供先 研究費の用途 研究費の管理 研究費の報告 厚生労働省

発表者氏名 宮下光令 所属/身分 東北大学 教授

該当なし 該当有りの場合:企業名等

企業の職員・法人の代表

企業等の顧問

株主など

講演料など

原稿料など

寄付金

研究費(治療等)

専門的助言・証言

研究責任者氏名 宮下光令 所属/身分 東北大学 教授

該当なし

企業の職員・法人の代表

企業等の顧問

株主など

講演料など

原稿料など

寄付金

研究費(治療等)

専門的助言・証言

その他(特許等)

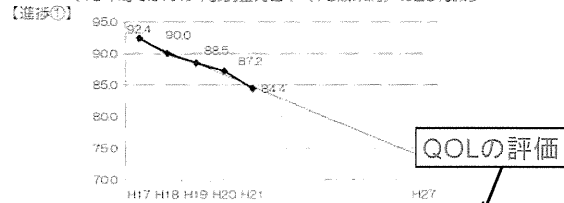
がん対策推進基本計画

全体目標(2) すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

がん患者の多くは、疼痛等の身体的な苦痛だけでなく、がんと診断された時から不安や抑うつ等の精神心理的な苦痛を抱えている。(中略) こうしたことから、治療の初期段階からの緩和ケアの実施はもとより、がん医療の更なる充実、がん医療に関する相談支援や情報提供等により、「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」を実現することを目標とする。

厚生労働省 がん対策推進協議会資料 全体目標に対する進捗状況

【目標①】 がんによる死亡者数の減少
(10年間でがんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少)



【目標②】 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上
【進捗②】 厚生労働省研究班において、がん患者ががん医療を患者の視点で評価する指標を開発

本研究の目的

日本のがん対策の評価のために、全国のがん患者のQOLを経時的に評価する方法を確立する

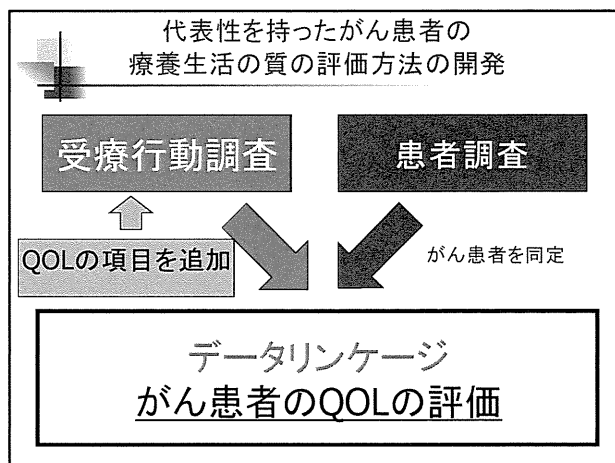
がん対策の評価のための QOLの評価方法に求められる要件

- 日本を代表するデータであること
- 5年、10年という期間で同じ方法で測定され、がん対策の効果を検証できること
 - 特定の病院のデータではダメ
 - 外来だけではダメ
 - 担当者が変わっても同じ方法で出来なくてはダメ

受療行動調査

- 全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や満足度を調査する、患者を対象とした政府統計
- 全国の一般病院を利用する患者(外来・入院)を対象として、層化無作為抽出した一般病院(500施設)を利用する患者が対象
- 3年に1回実施
- 患者調査、医療施設静態調査と同時に実施

これからの医療のために
平成23年度 受療行動調査
調査日 平成23年10月 日
厚生労働省ホームページ
http://www.mhlw.go.jp/topkei/2011/09/200901-1.html



H23年度受療行動調査から新たに追加療養生活の質の評価(QOL)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思う	そう思わない
からだの苦痛がある	1	2	3	4	5
痛みがある	1	2	3	4	5
気持ちがつかない	1	2	3	4	5
病への対処がだ	1	2	3	4	5
身の回りのことをするのに介助が必要だ	1	2	3	4	5

1	2	3	4	5
よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない

平成23年度受療行動調査から新規に追加

平成23年度受療行動調査

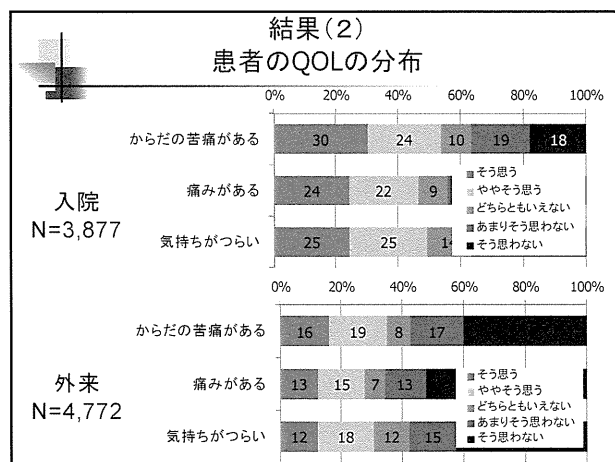
施設数	有効回答数		
	総数	外来	入院
施設総数	485	98,988	51,632
特定機能病院	35	25,178	14,069
大病院	69	29,422	17,381
中病院	143	27,001	13,337
小病院	120	9,757	2,468
療養病床を有する病院	118	7,630	4,337

	有効回答数	関連集計可能患者数	悪性新生物患者回答数
総数	150,620	50,479	8,649
外来	98,988	31,795	3,877
入院	51,632	18,684	4,772

結果(1) がん患者の背景

入院 N=3,877、外来 N=4,772

	入院		外来		入院		外来	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
性(男)	2877	(60)	1998	(52)	637	(13)	495	(13)
年齢								
39歳以下	205	(4)	160	(4)	558	(12)	482	(12)
40-64歳	1838	(39)	1397	(36)	198	(4)	100	(3)
65-74歳	1533	(32)	1265	(33)	141	(3)	51	(1)
75歳以上	1196	(25)	1055	(27)	163	(3)	93	(2)
病院の種類								
特定機能病院	1382	(29)	998	(26)	224	(5)	591	(15)
大病院	1710	(36)	1378	(36)	284	(6)	291	(8)
中病院	1428	(30)	1287	(33)	166	(3)	458	(12)
小病院	102	(2)	129	(3)	277	(6)	204	(5)
療養病床を有する病院	150	(3)	85	(2)	611	(13)	259	(7)
入院・通院している病院に緩和ケア病棟がある	786	(16)	665	(17)	803	(17)	492	(13)
入院・通院している病院に緩和ケアチームがある	3889	(82)	3051	(79)				



結果(3) ロジスティック回帰分析(入院)

	からだの痛みがある			痛みがある			気持ちがづらい		
	OR	OR	OR	OR	OR	OR	OR	OR	
性(男=ref)									
女	1.08	1.03	1.04						
年齢(39歳以下=ref)									
40-64歳	1.20	1.47	1.41						
65-74歳	1.08	1.82	1.18						
75歳以上	1.44 **	2.70 ***	1.56 ***						
病院の種類(特定機能病院=ref)									
大病院	0.96	1.10 *	0.94						
中病院	0.88	0.93	0.85						
小病院	0.97	0.60 *	1.05						
緩和ケア病棟を有する病院	1.19	1.00	1.10						
緩和ケア病棟の有無(なし=ref)									
あり	1.06	1.09	1.09						
緩和ケアチームの有無(なし=ref)									
あり	0.95	0.87	1.07						
部位(胃・食道=ref)									
膵臓・直腸	1.04	1.02	0.99						
肝	0.74 *	1.58	0.63 **						
胆嚢・胆道	1.41	1.10	1.65 **						
膵	2.12 ***	2.69 ***	1.89 ***						
肺	1.07	1.25	1.00						
乳	0.76 *	1.08	0.97						
子宮・卵巣	0.90	1.05	0.80						
前立腺	0.81	0.52 ***	0.63 *						
腎・膀胱	0.95	0.69 **	0.99						
白血病・リンパ腫	0.83 *	0.94	0.61 ***						
その他	1.19	1.17	1.17 *						

* P<0.05, ** P<0.01, *** P<0.001

「そう思う」「ややそう思う」を症状ありとした
OR>1はQOLが低いことを示す

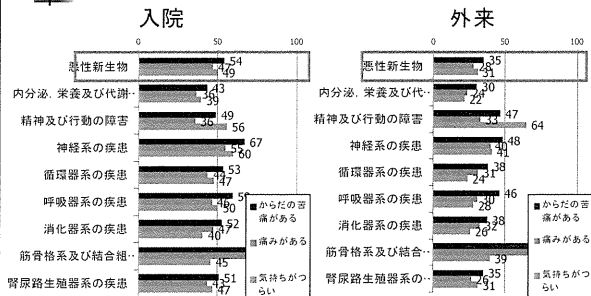
結果(4) ロジスティック回帰分析(外来)

	からだの痛みがある		痛みがある		気持ちがづらい		からだの痛みがある		痛みがある		気持ちがづらい	
	OR	P値	OR	P値	OR	P値	OR	P値	OR	P値	OR	P値
性(男=ref)												
女	1.10		1.01		1.25 *							
年齢(39歳以下=ref)												
40-64歳	1.37		1.01		1.21							
65-74歳	1.50		0.94		1.30							
75歳以上	2.10 ***		1.16		1.57 **							
病院の種類(特定機能病院=ref)												
大病院	1.21 ***		1.21		1.08 *							
中病院	0.88		1.09		0.87							
小病院	0.64		1.15		0.43 **							
緩和ケア病棟を有する病院	0.93		1.35		1.02							
緩和ケア病棟の有無(なし=ref)												
あり	1.09		0.95		1.03							
緩和ケアチームの有無(なし=ref)												
あり	0.77 *		0.94		0.92							
部位(胃・食道=ref)												
膵臓・直腸												
肝												
胆嚢・胆道												
膵												
乳												
子宮・卵巣												
前立腺												
腎・膀胱												
白血病・リンパ腫												
その他												

* P<0.05, ** P<0.01, *** P<0.001

「そう思う」「ややそう思う」を症状ありとした
OR>1はQOLが低いことを示す

結果(5) 疾患別のQOL



グラフは「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合

結果のまとめ

- それぞれの症状を持つ割合は入院がん患者の44%~54%、外来がん患者の28%~38%であった。
- 年齢(75歳以上)、がんの部位がQOLに関連した。
- 性、病院の種類、受診した病院の緩和ケア病棟の有無、緩和ケアチームの有無のQOLとの関連は一貫せず、更なる分析が必要である。

受療行動調査を利用した QOL評価の利点と欠点

- 利点
 - 全国の入院・外来のランダムサンプリングデータであるため、代表性が高い。
 - 継続性があり、新たな資金や労力を必要としない。
 - 病名の信頼性が高く、医療施設調査とリンクできる。
- 欠点
 - 化学療法、放射線治療、術後経過観察などの治療状況の情報がない。
 - 再発・転移などの詳細な疾患情報がない。
 - 今後の病院・病床の役割再編に対応できるかわからない。

今後の課題

- 病院規模別のサンプリング割合を考慮した全国値の再計算
- がん診療連携拠点病院、緩和ケア診療加算の影響などを含めた詳細な分析
- 満足度や説明に対する理解度などとの関連の分析
- 一般市民のQOLとの比較

まとめ

- 受療行動調査を用いて、日本のがん患者のQOLを評価する方法を開発した。
- H23年度受療行動調査の粗解析を行った。
- 今後も受療行動調査で同様の項目が取得できれば、がん医療の発展をQOLの側面から評価できる可能性がある。

日本癌治療学会 2013年10月24日

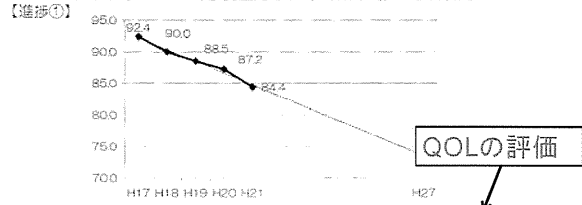
全国のがん患者のQuality of Life: 平成23年度受療行動調査と一般市民の比較

宮下光令¹⁾ 加藤雅志²⁾ 清水恵¹⁾ 佐藤一樹¹⁾ 藤澤大介³⁾ 森田達也⁴⁾

- 1) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野
- 2) 国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部
- 3) 国立がん研究センター精神腫瘍科
- 4) 聖隷三方原病院緩和と支持治療科

厚生労働省 がん対策推進協議会資料 全体目標に対する進捗状況

【目標①】 がんによる死亡者数の減少
(10年間でがんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少)



【目標②】 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上
【進捗②】
厚生労働省研究班において、がん患者ががん医療を患者の視点で評価する指標を開発

本研究の目的

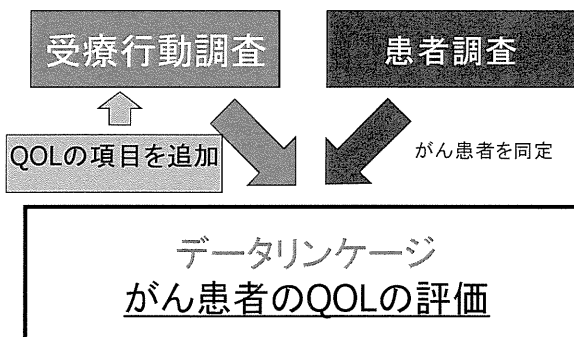
- 厚生労働科学研究費補助金「がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究」班
- 日本のがん対策の評価のために、H23年度に実施された受療行動調査を用いて、全国のがん患者のQOLを評価する。
- H23年度の受療行動調査のがん患者のQOLデータと、一般市民に対して同様に行ったQOL調査のデータを比較する。

受療行動調査

- 全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や満足度を調査する、患者を対象とした政府統計
- 全国の一般病院を利用する患者(外来・入院)を対象として、層化無作為抽出した一般病院(500施設)を利用する患者が対象
- 3年に1回実施
- 患者調査、医療施設静態調査と同時に実施



代表性を持ったがん患者の療養生活の質の評価方法の開発



H23年度受療行動調査から新たに追加療養生活の質の評価(QOL)

問3 現在の心身の状態についてお聞かせください。(それぞれ○はひとつだけ)

内 容	まあ 悪う	ややまあ 悪う	どちらとも いえない	まあまあ 良い	まあ 良い
からだの活動が楽	1	2	3	4	5
痛みがある	1	2	3	4	5
気持ちがいい	1	2	3	4	5
歩くのが大変だ	1	2	3	4	5
身の回りのことをするのに介助が必要だ	1	2	3	4	5

問4 あなたの自分の健康をどのくらい悪いですが。(○はひとつだけ)

	1 よい	2 まあよい	3 まあ悪	4 かなりよくない	5 よくない

平成23年度受療行動調査から新規に追加

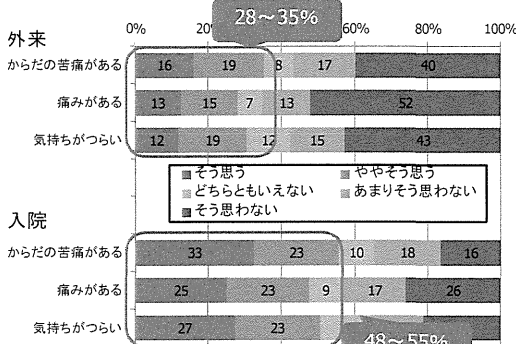
平成23年度受療行動調査

	施設数	有効回答数		
		総数	外来	入院
施設総数	485	150,620	98,988	51,632
特定機能病院	35	39,247	25,178	14,069
大病院	69	46,803	29,422	17,381
中病院	143	40,338	27,001	13,337
小病院	120	12,225	9,757	2,468
療養病床を有する病院	118	12,007	7,630	4,337
	有効回答数	関連集計可能容体数	悪性新生物患者回答数	
総数		150,620	50,479	8,649
外来		98,988	31,795	3,877
入院		51,632	18,684	4,772

がん患者の背景 入院 N=3,877、外来 N=4,772

性(男)	入院 N (%)		外来 N (%)		部位	入院 N (%)		外来 N (%)	
	N	(%)	N	(%)		N	(%)	N	(%)
年齢	2877	(60)	1998	(52)	胃・食道	637	(13)	495	(13)
39歳以下	205	(4)	160	(4)	結腸・直腸	558	(12)	482	(12)
40-64歳	1838	(39)	1397	(36)	肝	198	(4)	100	(3)
65-74歳	1533	(32)	1265	(33)	胆嚢・胆道	141	(3)	51	(1)
75歳以上	1196	(25)	1055	(27)	膵	163	(3)	93	(2)
病院の種類					肺	710	(15)	361	(9)
特定機能病院	1382	(29)	998	(26)	乳	224	(5)	591	(15)
大病院	1710	(36)	1378	(36)	子宮・卵巣	284	(6)	291	(8)
中病院	1428	(30)	1287	(33)	前立腺	166	(3)	458	(12)
小病院	102	(2)	129	(3)	腎・膀胱	277	(6)	204	(5)
療養病床を有する病院	150	(3)	85	(2)	白血病・リンパ腫	611	(13)	259	(7)
入院・通院している病院に緩和ケア病棟がある	786	(16)	665	(17)	その他	803	(17)	492	(13)
入院・通院している病院に緩和ケアチームがある	3889	(82)	3051	(79)					

平成23年受療行動調査の結果 がん患者(心身の状態)



今後のがん対策を考えるにあたり、 QOLの目標値をどう設定すべきか

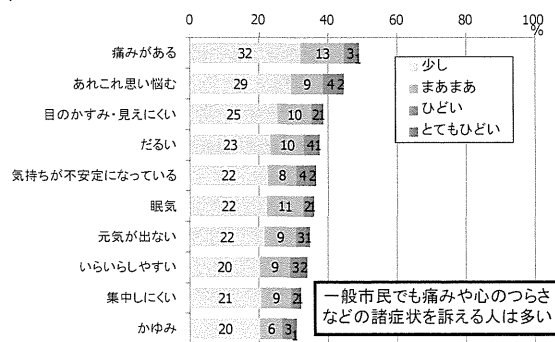
- 理想は痛み0%、苦痛0%、こころのつらさ0%
- しかし、がんに罹患していなくても、他の疾患や腰痛、関節痛などの痛みや苦痛を有する人は多い
- 一般市民のデータと比較して考える必要がある

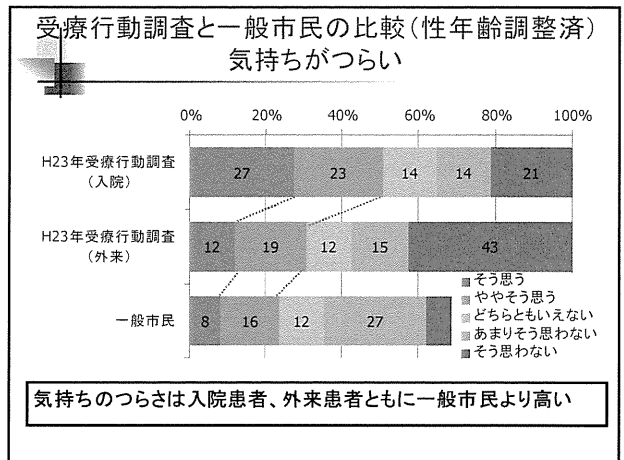
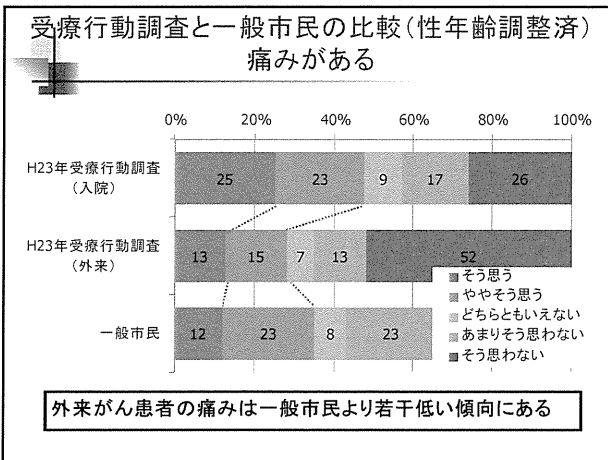
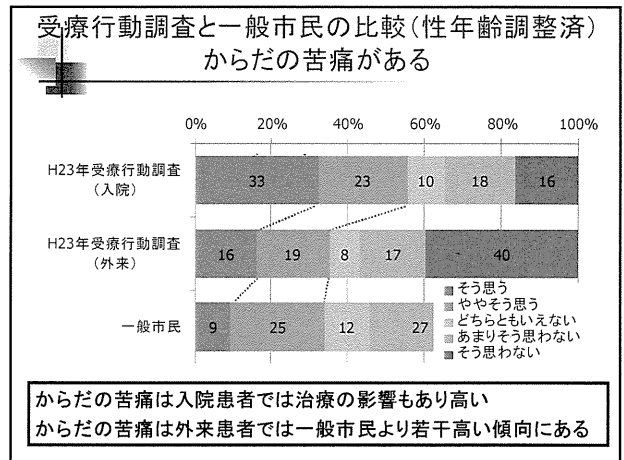
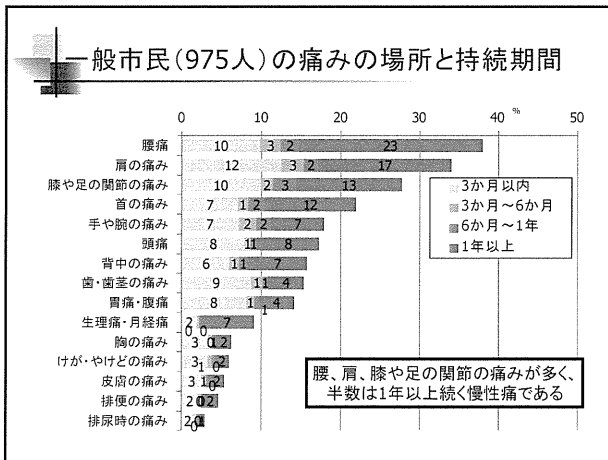
一般市民調査

- 対象 全国の20~79歳の一般市民2400人
- 方法 層化2段階無作為抽出法
- 回収状況 975人(41%)

性	男	45	最終学歴	中学	15
女	55		高校	44	
年齢	55±17		短大・高専	19	
婚姻状況	既婚	69	大学・大学院	23	
	未婚	17	フルタイム	42	
	離別・死別	13	パートタイム	15	
同居状況	1人暮らし	12	仕事していない	21	
	家族と同居	87	専業主婦	17	
世帯収入	0-199万円	11	通院	37	
	200-399万円	30	あり	63	
	400-599万円	28			
	600-799万円	15			
	800万円以上	17			

一般市民(975人)の有症率(上位10)





- ### 受療行動調査を利用した QOL評価の利点と欠点
- 利点
 - 全国の入院・外来のランダムサンプリングデータであるため、代表性が高い。
 - 継続性があり、新たな資金や労力を必要としない。
 - 病名の信頼性が高く、医療施設調査とリンクできる。
 - 欠点
 - 化学療法、放射線治療、術後経過観察などの治療状況の情報がない。
 - 再発・転移などの詳細な疾患情報がない。

- ### 考察
- 入院がん患者のQOLは、一般市民の値に近づけることが目標になるだろう。しかし、治療の影響や病期を考慮する必要がある。
 - 外来がん患者のQOLは、気持ちのつらさは一般市民の値に近づけることが目標になるが、からだの苦痛、痛みを受療行動調査で把握するのは難しいかもしれない。
 - 全国の経時的な推移に関しては受療行動調査は有用かもしれないが、より緩和ケアが必要な患者をターゲットにしたQOLの検討も同時行っていく必要がある。